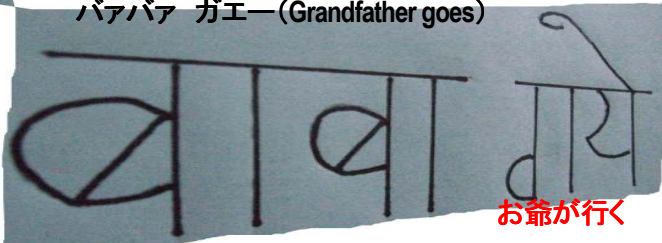


バアバア ガエー (Grandfather goes)



お爺が行く



書画作成
Nidhi Gupta

インド福祉村協会 (IWVS)

<http://iwvs.web.infoseek.co.jp>

現地 PM 加藤 伸也

2009年2月12日 発行 第15号

JICA 草の根支援協力

「保健衛生と人材育成」事業 実施中

2007年9月～2010年8月

1月30日 妊婦学校と頭シラミ薬配布

学校訪問の時に、頭シラミのいる子は病院に来るように言っています。薬は無料配布です。



去年の十月から始め、最初は10人以下でしたが最近では50人を超える日もあります。

週1回金曜日が頭シラミの診療日です。

上の写真が虫眼鏡を通して撮ったシラミです。

Drは三種類のシラミがいたと言って、見せてくれましたが、小さくて老眼では困難でした(*_*)。

昔、真虫群……いえ進駐軍が学校に来て

DDTを頭に振りかけられたことを思い出しました。今思えば、あれは進駐軍のボランティア的な衛生活動だったのでしょか(=_=)。

2月4日 研究・ボランティアチームのお帰り

あっという間に帰国の時です。「身長・体重・胸囲・頭囲」の継続測定は今回については出来ませんでした。しかし、新たに三校を開拓しました。私は写真担当で頑張りましたが、アソー(笑って)と言っても、村に行けば行くほどノー・アソーでした。そして、村に行くほど「頭シラミ」が多いことを知りました(@_@)。

やっと学校給食を始めた学校やまだの学校などあり、環境整備はこれからのようですね。こうした活動を通じ、学校側も子供の成長にもっと興味を持って、自立的に継続測定をし観察していけば、栄養・衛生面での整備要求につながるように思えます。でも、身長計、体重計もないのですから、学校が必要と感じ要求する意識改革も大切ですね。

芝山、仲井さんお疲れ様でした。都合7回目ですが、次の来訪を子供達が待っています。よろしくね(^_^)v。

いろいろなアドバイスを生かしていきたいと思います。そして、駅まで見送りに行きましたが、列車を待つこと約4時間ちょっと。その後いろいろトラブルがあったようですが、無事帰国の便りがあり安心しました。

2月6日 日本人観光客からのプレゼント

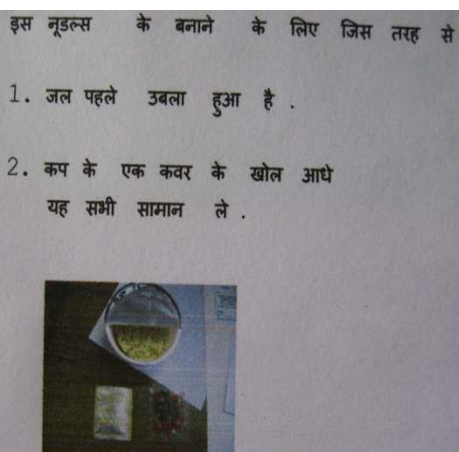
とうとう、病院にいる日本人は私だけになりました。と、思ったらこの日にクシナガル仏跡観光に日本人ツーリストが30人程来て、たくさんのプレゼントを頂きました。早速ホテルに行き、お礼をしましたm(_)_m。

Staffにもあげるため、飲食調査をしたところ、豚、牛、(エビ・数人)以外は飲食可能でした。食べ方をヒンディ語に訳すため Googleにある「more → その他 → 翻訳」を使い、英語からヒンディ語に訳して、文書を渡しました。

Dr曰く、「日本語ダメ、英語OK」なので英語で訳しました。

(本当に分かるのか心配でしたが、コックのゴパールもOKと言うのでいいのでしょう)

← カップヌードルの食べ方を書いた一部です。



私一人では食べきれません。そこで同じクシナガルで活動する日本 NGO「マイトリーの会」の人にもあげることにしました。

マイトリーの会は教育支援活動をしています。現在、角田さん、中川さんの女性二人で現地 Staffと一緒に支援活動をしています。14日に学校建築完成セレモニーを開くと言っていました(^o^)

観光客の皆さん、ありがとう。